

**ポートメッセなごや「新第1展示館」
の早期整備等に関する要望**

**平成27年10月
名古屋商工会議所**

ポートメッセなごや「新第1展示館」 の早期整備等に関する要望

名古屋商工会議所では、平成18年1月、愛知県、名古屋市とともに「メッセナゴヤ実行委員会」を設立し、毎年、国際総合展示会「メッセナゴヤ」を開催している。第10回を迎える本年は、当初の約4倍の開催規模となり、会場の収容力から一部の希望者には出展をお断りせざるを得ない事態が発生した。

メッセナゴヤでは、各出展者が自社の誇る技術や製品、サービスをアピールすると同時に「ヒト」「モノ」「情報」の交流が活発に行われており、それらが有機的に結びつく機会を提供することで愛知のモノづくりをはじめ産業振興、とりわけ中小企業振興に大きな役割を果たしている。

産業を振興していく上で、「展示会」は、非常に効果の高いコンテンツである。そのため、大規模展示会の誘致や既存展示会への企業等の出展勧誘については、近年、東京をはじめとする他都市との競争になっているのが実情である。

当地においても本年4月に「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」が設立されたところであるが、都市間競争を勝ち抜くためにも、大規模かつ機能的な展示場の早期整備は喫緊の課題である。

については、こうした状況を踏まえ下記の通り要望する。

記

1. 名古屋国際展示場の第1展示館については移転整備計画が検討されているが、以下の点に配慮しスケジュールを明確に示した上で早期に実現していただきたい。
 - (1) 移転整備により、一時的にも全体の展示場面積が減少しないこと。
 - (2) 新第1展示館と既設の第2展示館、第3展示館との一体性・連続性の確保に十分配慮すること。
 - (3) 第2展示館、第3展示館については、Wi-Fi環境、洋式トイレなどの設備の充実・更新を同時に進めること。
2. 新たな大規模展示施設の建設計画について、愛知県とも緊密に連携を図り、利便性に優れたグローバルスタンダードなコンベンション施設の整備促進に努められたい。

以上